



とのやま



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

富士見台中学校HP

その瞬間をつくる「もうひと踏ん張り」

合唱コンクールまで、いよいよ一週間を切りました。

昼休みや放課後に聞こえてくる歌声には、これまでの練習の成果が表れ、日を追うごとに一体感と深みが増しています。それは、ただ音をそろえるだけの練習の成果ではありません。仲間と向き合い、声を重ね、心を通わせる時間を積み重ねてきたからこそ、豊かな歌声が響きわたっているのです。

合唱コンクールの目的は、金賞を取ることでだけではありません。もちろん、金賞という結果を目指して努力することは素晴らしいことです。そのうえで大切なのは、この取り組みを通して「自分自身がどう成長したか」「仲間とどんな時間を過ごしたか」ということです。つまり、「結果」よりも「過程」が大切なのです。

これまでを振り返ると、うまくいかないことに悩んだ日もあったでしょう。声がそろわず、気持ちがすれ違って、もどかしさを感じたこともあったかもしれません。でも、そんなときこそ仲間と語り合い、工夫し、乗り越えてきたのではないのでしょうか。その経験こそが、皆さんに挑戦する強さと、仲間と協力し合い、よりよいものを生み出す力を育ててくれたはずです。

本気になると 世界が変わってくる 自分が変わってくる 坂村 真民

本気で歌うことは、自分の気持ちをまっすぐ届けること。その気持ちは、聞いている人だけでなく、自分自身にもきちんと伝わってくるものです。

みんなで練習できる日は、今日を含めて残り4日。ここからが本当のがんばりどころです。当日は、練習してきたことしか出せません。声を磨き、心をそろえ、さらに高みを目指していきましょう。

合唱コンクールは、みんなの声と心がひとつになる特別な瞬間。その瞬間をつくるのは、この一週間の「もうひと踏ん張り」です。本番に向けて、最後の一步を踏み出すときです。



この便りは、保護者の方にもお渡しして読んでいただけてください

